

7月2日に行われた近畿OL連絡会。オリエンテーリングシミュレータの体験会を開催しました。

オリエンテーリングをバーチャルで!

勤務先大学の研究室の学生たち(オリエンティアではない)と、ずいぶん前からオリエンテーリングのトレーニング用シミュレータを開発しています。

トレインの3次元モデルをコンピュータ内に作成し、ディスプレイに表示して仮想的にオリエンテーリングを行うというもので、CGプログラミングとオリエンテーリングをかじっていれば誰でも作ってみようと思うものです。実際、インターネットで探せばいくつも見つかります。

我々のシステムでは、プロジェクタを使って、スクリーン(白い壁でOK)に仮想トレインを表示します。スクリーンの前に立ち、ゲーム機 Wii のコントローラを PC に無線(Bluetooth)で接続して、ディスプレイに表示されている地図を操作したり、仮想トレイン内を走行します。実際の競技に近づけるべく、Wii の拡張コントローラ Nunchuk をズボンのポケットなどに入れて、その場で足踏みをする進む仕組みになっています。登りや藪の中に突っ込むと、速度が落ちます。ポイント0の他、ライン0や獵犬0、おとりのコントロールを置いたりもできます。また、地図やトレイン内の特徴物を個別にワンタッチで消したりすることもできます。

最近の3Dブームのおかげで、専用のメガネをかけることで立体視ができる短焦点プロジェクタが10万円台で手に入るようになったので、早速購入して利用しています。立体視表示機能をもつビデオカードを搭載したPCも必要ですが、一式およそ40万円程度で揃います。2年ほど前までは、プロジェクタだけで数10万円から100万円以上必要だったのがウソのようです。もちろん、これらの周辺機器がなくても大丈夫です。機能は限定されますが、普通のPCだけでも利用できます。

頭の痛いところ

我々のシステムには、問題点もあります。表示できる特徴物が限られている、OCAD データを一部利用することはできるもののトレインのデータ作成に

時間がかかる、といった技術的な課題です。

これらの他にも、完成度や安定性の問題があります。卒業論文や修士論文のテーマとして開発を行っているため、毎年学生が入れ替わり、その都度新しい機能を盛り込むことが必要になります。バグ取りだけでは論文になりませんから。結果として、中途半端に機能は増えるものの、バグが多くて実用には苦しいという状態が続いてきました。開発に取りかかってからずいぶん経つというのに、なかなか公開するまでに至っていないのは、このためです。

しかし、論文作成に当たっては、実際にオリエンティアに使ってもらって評価を行うことも必要です。そのためには、完成度や安定性を上げなければなりません。頭の痛いところです。

近畿 OL 連絡会と体験会

なぜ近畿OL連絡会で体験会を開くことになったか、ご説明しましょう。

昨年1月の近畿OL連絡会で、関西地区大学クラブの新入部員獲得及び定着支援策が話し合われました。これを受けて、我々のシステムを新人獲得や定着に活用できないか、京大・京女生有志に試してもらうところから始めました。新人向けであれば、使う機能は限定的で、完成度が十分ではなくても大丈夫だろうと思ったからです。結局、新勅には使用しなかったものの、昨年の夏合宿や、ミドルセレ対策として奈良女に持ち込んで使用してもらったりしました。この件を今年1月の近畿OL連絡会で報告したところ、7月の連絡会でデモしてほしいという要望が出されました。

そこで、7月の連絡会の会場を私の大学にしてもらい、会議の前後で出席者に試用してもらえるようにしました。当日は立体視が可能なシステム2セット、通常のプロジェクタを使うシステム2セットの合計4セットを用意しました。立体視可能なシステム1セットはこの日のために新調しました。

せっかく準備したシステムを会議前後の短時間だけしか使わないのももったいないので、企画を考えて、近畿OL連絡会出席者とは別に、参加希望者を事前募集しました。その企画とは、午前中にシステムの説明を聞いて操作に慣れてもらい、複数のコースを自分で組み、午後からはそのコースでみっち

りとトレーニングするというものです。参加者は2名だけでしたが、その分システムをフルに使ってもらうことができました。

参加者の方には、最後にアンケートに答えていただきました。システムの改善に役立てると共に、学生の論文のネタの一部とさせていただく予定です。連絡会出席者の方にも短時間ではありましたが、使用しないしは使用中の様子を見ていただくことができました。インストラクタ講習会で利用できるのではというご意見もいただきました。

立体視に関しては、個人差があって、うちの研究室の中には立体視できないという学生までいたのですが、見ていただいた会議参加者に限っては、概ね好評で、ほっとしました。

今後の展開

近畿OL連絡会の席上でも質問がありました。残念ながら一般公開の時期は未定です。理由は前述したとおりで、マニュアルもまだ不完全だからです。しかし、それでもいいから使ってみたいという方には個別にお渡しすることは可能です。現在そのための準備を進めているところです。

都合が合えば、出前も可能ですので、声をかけていただければと思います。
(河合利率)

